



西南学院大学学内G P「<ことばの力>養成講座」特別企画

# 韓国民衆美術が見た日本、 日本が見た民衆美術



2012.09.29 OPEN / 13:00 START / 13:30

1. 尹凡牟「1980年代、韓国民衆美術運動と版画」
2. 稲葉真以「韓国民衆美術に魅せられて」
3. 洪成潭「フクシマ沈黙のシステム」
4. 質疑応答

場所 / 西南学院大学東キャンパス大学院大ホール  
 司会 / 徐勝（立命館大学特任教授）  
 通訳 / 稲葉（藤村）真以  
 問い合わせ先 / 田村元彦（法学部）mtamura@seinan-gu.ac.jp

## 徐勝

ソ・スン

立命館大学特任教授。1945年京都生まれ。ソウル大学校大学院に留学中の1971年、国家保安法で拘束・逮捕される。1990年釈放。立命館大学法学部教授、立命館大学コリア研究センター長を歴任し、2011年3月に退官。著書に「徐勝の東アジア平和紀行」など。

## 洪成潭

ホン・ソンダム

美術家。1955年全羅南道荷衣島生まれ。1980年5月に起こった光州事件では、市民軍の文化宣伝隊として活動する。1980年代の民主化運動とともに展開した民衆美術運動を率いた代表的作家。最近は3・11以後の状況について積極的に発言。

## 尹凡牟

ユン・ボンモ

美術評論家。詩人。嘉泉大学教授。1950年忠清道生まれ。1980年代の民衆美術運動の先駆となった美術小集団「現実と発言」創立メンバーの一人であり、美術評論家として民衆美術運動を理論的に支えた。当時の韓国に第3世界の美術を積極的に紹介した。

## 稲葉真以

いなば・まい

光云大学助教授。1968年京都生まれ。国民大学美術理論学科博士課程修了。1980年代韓国の民衆美術運動を研究。日本と韓国の近現代美術を中心に、東アジアにおける美術を取り巻く言説について幅広い関心を持ち、美術評論、展覧会の企画など幅広く活動。